

発育鶏卵を用いた創薬研究

[キーワード: 発育鶏卵, 制癌剤, 抗酸化剤] 教授 宇都 義浩

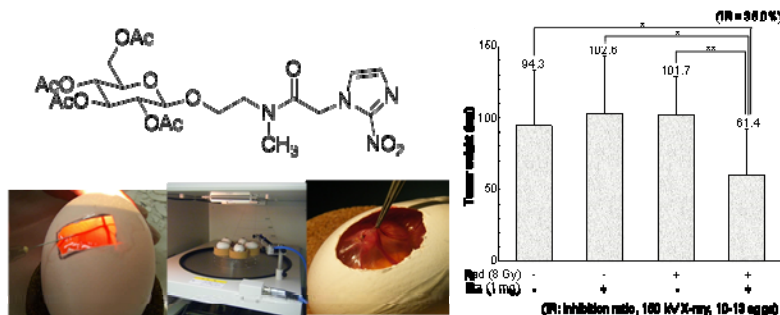


図1 放射線増感剤TX2244の放射線増感活性の評価

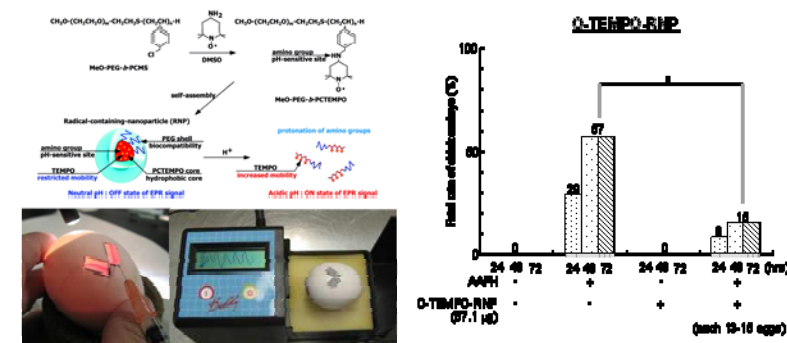


図2 レドックスナノ粒子の抗酸化活性の評価

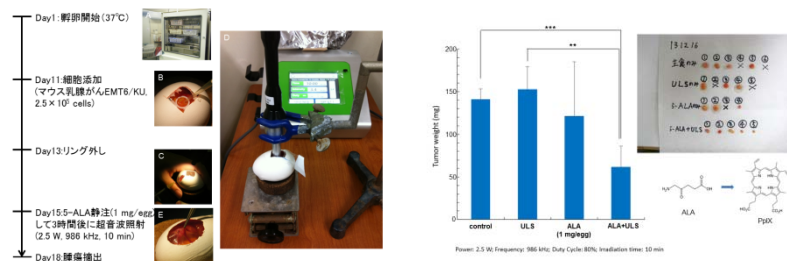


図3 超音波増感剤ALAの超音波増感活性の評価

内容:

創薬研究にとってマウスやラットを用いた動物実験は不可欠ですが、倫理的問題のためにその使用が制限されてきています。近年、ゼブラフィッシュが代替実験動物として開発されていますが、比較的高い脂溶性をもつ薬剤しか吸収されず、吸収量もコントロールし難いといった問題点があり、他の実験動物の開発が強く求められています。

そこで我々は、発育鶏卵を用いた薬剤評価法を開発することを試んでいます。発育鶏卵とは、マウスやラットと比較して、安価で、飼育が容易であり、個体差が小さく、アレルギー性が低く、特別な実験施設が不要といった多くの利点を有する次世代の実験動物です。これまでに、この発育鶏卵を用いて我々が分子設計・合成した放射線増感剤/防護剤、血管新生阻害剤、抗転移剤、超音波増感剤、抗酸化剤の薬物動態解析や活性評価に成功しています。

分野: 創薬化学

専門: メディシナルケミストリー

E-mail: uto@bio.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-7522

Fax: 088-656-7522

HP: <http://www.bio.tokushima-u.ac.jp/A2/>

